

- 問1 ヨーロッパの航空機産業について、フランス南西部のトゥールーズに本社や最終組み立て工場を置く企業を中心とした生産体制の特徴として、最も適切な説明を選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. かつて北東部で産出された鉄鉱石を主な原料として利用するため、現在も内陸の鉱山地帯が航空機生産の全工程を担っている。 | 2. EU非加盟国からの安価な部品輸入を促進するため、フランス国内の工場はすべて沿岸部の港湾都市に集中している。 | 3. 原材料の確保から部品製造、最終組み立てまでのすべての工程を、トゥールーズ周辺の地域のみで完結させている。 | 4. ヨーロッパ各国の分業体制がとられており、各国で製造された部品をトゥールーズに集約して最終製品を組み立てている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 フランスのパリは日本の札幌よりも高緯度に位置していますが、1月の平均気温を比較するとパリの方が高くなっています。このように、高緯度にある西ヨーロッパが冬でも比較的温暖な気候となる要因として、最も適切な組み合わせを選びなさい。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 低緯度から流れてくる北大西洋海流（暖流）と、夏と冬で向きが変わる季節風 | 2. 低緯度から流れてくる北大西洋海流（暖流）と、一年中西から吹く偏西風 | 3. 高緯度から流れてくるリマン海流（寒流）と、夏と冬で向きが変わる季節風 | 4. 高緯度から流れてくる親潮（寒流）と、一年中西から吹く偏西風 |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
- 問3 主要国の中で、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が改善（減少）しているドイツの動向について、その背景として最も適切な説明はどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を国を挙げて推進したため | 2. 経済成長を停止させ、工場などの生産活動をすべて国外へ移転させたため | 3. 人口が急激に増加したことで、一人当たりの排出量が相対的に減ったため | 4. 二酸化炭素の排出量が多い石炭や石油の消費量を大幅に増やしたため |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問4 1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|------------|-------|
| 1. ドイツ | 2. 中国 | 3. アメリカ合衆国 | 4. 日本 |
|--------|-------|------------|-------|
- 問5 面積が約30万平方キロメートルと日本に近い規模でありながら、国民総所得（GNI）が2兆ドルを超え、1人あたりの貿易額も1.6万ドルを上回るなど、高い経済水準を持つ国を次の中から選びなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. ガーナ | 2. イタリア | 3. インド | 4. ブラジル |
|--------|---------|--------|---------|
- 問6 EUの統計において、一人あたりの国民総所得が4万ドル以上の国はすべて2003年以前の加盟国であり、2004年以降に加盟した国々の多くは2万ドル以下となっています。こうしたEU加盟国間の経済格差を是正し、地域全体の均衡ある発展を目的として行われているEUの取り組みとして、適切なものを選択してください。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---------------------------------------|
| 1. 経済発展が遅れている地域に対し、道路や通信網の整備などのために地域開発資金を援助する | 2. 新しく加盟した国々に対して、旧加盟国との貿易に高い関税をかけることを許可する | 3. 一人あたりの国民総所得が低い国の加盟資格を取り消し、少数の豊かな国だけで統合を進める | 4. すべての加盟国の通貨を強制的にユーロへ統一し、物価を完全に一致させる |
|---|---|---|---------------------------------------|
- 問7 ヨーロッパ北部の農業に関する記述として、人口一人あたりの牛乳生産量が950キログラムを超え、北海に面した冷涼な気候を活かして乳牛を飼育し、牛乳やバター、チーズなどの生産を盛んに行う農業形態を何といいますか。（2026年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|-------|-----------|
| 1. 混合農業 | 2. 酪農 | 3. 移牧 | 4. 地中海式農業 |
|---------|-------|-------|-----------|
- 問8 多くの先進国で少子高齢化が課題となる中、フランスは比較的高い出生率を維持していることで知られています。2022年の統計に基づくフランスの人口ピラミッドの形状について、各年齢層の分布状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 若年層が極端に少なく、老年人口の層が横に大きく張り出した逆三角形に近い形状 | 2. 生産年齢人口である都市部への流入層のみが突出し、上下の年齢層が極端に少ない星型の形状 | 3. 15歳未満の年少人口が極端に減少せず、底辺にある程度の厚みを保ったつぼ型から釣鐘型に近い形状 | 4. 出生率が非常に高く、底辺が横に大きく広がり頂点に向かって急激に細くなる富士山型の形状 |
|--|---|---|---|
- 問9 イタリアの食卓において、パスタやオリーブオイルを用いた料理が一般的である理由は、現地の気候的特徴と深く結びついています。この食文化の背景となる、気候と作物の関係についての説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 冬に大量の雪が降り、その雪解けが夏の乾燥を補うため、大規模な灌漑施設を利用したオリーブ栽培が行われているため。 | 2. 一年中高温多湿で降水量が多いため、成長の早い小麦を年に数回組み合わせて収穫する二期作が行われているため。 | 3. 夏に雨が多く湿潤なため、水分を多く必要とするオリーブや小麦が広大な平野で大量に生産できるため。 | 4. 夏に雨が少なく乾燥するため、乾燥に強いオリーブや、冬の雨を利用して育つ小麦の栽培が盛んであるため。 |
|--|---|--|--|
- 問10 北大西洋海流と偏西風の影響を強く受けるヨーロッパ西岸から北西岸一帯で見られる気候について、その特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 一年中気温が低く、夏の間だけわずかに地表の氷が溶けて苔類が生育する「ツンドラ気候」となる。 | 2. 夏は高温多湿で降水量が多いが、冬は乾燥した冷たい季節風が吹き、四季の変化がはっきりした「温暖多湿気候」となる。 | 3. 夏は乾燥して日差しが強く、冬に雨が集中して降る、オリーブやブドウの栽培に適した「地中海性気候」となる。 | 4. 夏は涼しく、冬の寒さも緯度のわりに穏やかで、一年を通して降水量の差が少ない「西岸海洋性気候」となる。 |
|--|--|--|---|
- 問11 ロンドンは高緯度に位置しながらも、冬季の気温が比較的温暖であるという特徴があります。12月から3月にかけての平均気温が5.7度から8.0度の範囲にあり、氷点下を記録する札幌や、1.0度から5.9度の範囲にあるニューヨークよりも高い数値を示す要因として正しい説明はどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 高緯度を流れる暖流の北大西洋海流の上空を、偏西風が吹くことで温かい空気が運ばれるため。 | 2. 赤道付近から流れてくる寒流の影響を強く受け、湿った季節風が大陸から吹き込むため。 | 3. 北大西洋海流という暖流の影響は受けるが、冬には大陸からの乾燥した季節風が気温を押し上げるため。 | 4. 標高が低く平坦な地形が多いため、夏に蓄えられた地熱が偏西風によって冬季まで維持されるため。 |
|--|---|--|--|
- 問12 フィヨルドとリアス海岸はどちらも複雑に入り組んだ湾を持つ海岸ですが、フィヨルドの地形が形成される原理における最大の特徴として適切な説明を、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 河川の浸食作用ではなく、大昔の氷河の移動によって陸地が削られた点。 | 2. サンゴ礁の発達によって、波の穏やかな浅い海が形成された点。 | 3. 地質構造の変動により、海岸沿いの土地が階段状に隆起した点。 | 4. 河川から運び出された土砂が土砂崩れを起こして海岸線を拡大した点。 |
|--------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|